

目次

| | |
|---|---------------|
| 巻頭言 環境と時代の変わり目に思うこと | 鳥越けい子..... 4 |
| 特集 サウンドスケープから読み解く近代日本社会 | |
| 音および音風景をめぐる歴史分析の今日的課題 | 大門信也..... 5 |
| 1920-30年代における東京のサウンドスケープ・デザイン—騒音問題と都市美運動 | 石橋幹己..... 12 |
| 時報サイレンとサウンドスケープ—総動員体制への回収過程に着目して | 大浦瑞樹..... 27 |
| ミュージックサイレンの開発、普及及び受容について—昭和後期の浜松市の事例を中心に | 上野正章..... 36 |
| 論文 | |
| 中世後期ドイツ都市における管楽器の社会的機能—ニュルンベルクの事例を中心に | 吉田瞳..... 51 |
| R. マリー・シェーファーの言語観とテキストに関する研究—合唱作品における「サウンドスケープのこだま」に着目して | 古山詞穂..... 63 |
| 1970年代聴覚文化における大道音楽や物売りの声の録音収集の意義—LPレコード集『ドキュメント 日本の放浪芸』の文化資源学 | 鈴木聖子..... 74 |
| 小特集 コロナとサウンドスケープ | |
| コロナ禍で私が体験したサウンドスケープ | 池田順一..... 85 |
| サウンドスケープは新型コロナの夢をみるか? | 池村弘之..... 87 |
| 声援のない劇場、ホール | 石橋幹己..... 89 |
| カエルにはカエルの感染症があります | 大谷英児..... 89 |
| 大学の音 | 潟山健一..... 89 |
| コロナが変えた私的音の風景 | 川崎義博..... 90 |
| コロナ禍で「聴こえ」てきたこと | 小林田鶴子..... 92 |
| 意外と変わらなかった音環境 | 佐藤宏..... 92 |
| 「あわひ」/メディアとしてのサウンドスケープ | 田中直子..... 93 |
| 鉄道になる声—コロナ禍における子どものサウンドスケープ | 辻本香子..... 94 |
| コロナ世界の音の眺め | 長尾義人..... 95 |

| | |
|-------------------------------|---------------|
| コロナ・先斗町・病院 | 平松幸三..... 96 |
| Stay Homeとアルトサククス | 船場ひさお..... 97 |
| コロナは死の瞬間のサウンドスケープを遠ざけている | 松田新史..... 97 |
| 空間の入れ子 | 松本玲子..... 98 |
| びわ湖フロントの暮らしから コロナ禍のサウンドスケープ | 今井信..... 99 |
| 解説 | |
| サウンドスケープ概念からみた音環境政策の論点 | 箕浦一哉..... 101 |
| 書評 | |
| 岡田暁生著『音楽の危機』 | 小川博司..... 106 |
| 今井信著『近江の名曲 淡海節 最後の柝の音から始まる物語』 | 中川真..... 109 |
| 映画『ブータン 山の教室』 | 平松幸三..... 113 |
| 報告 | |
| 2020年度シンポジウム「風鈴で拓くアフターコロナの未来」 | 土田義郎..... 114 |
| 2020年度春季研究発表会 | 箕浦一哉..... 116 |
| 2020年度秋季研究発表会 | 箕浦一哉..... 118 |
| 例会「仕事を語る会」 | 平松幸三..... 121 |
| 2020年度委員会活動報告 | 各委員長..... 122 |
| 編集後記 | |
| ***** | |